

ながぬま



地熱育苗センタートマト鉢上げ作業

ながめまクリーンライス生産協議会 定期総会開催

3月23日、農協大会議室において、ながめまクリーンライス生産協議会の第27回定期総会が開催されました。

柴田会長の開会挨拶から始まり、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画について審議され、原案通り承認されました。

総会終了後には講習会が行われ、



開会挨拶をする柴田会長

ホクレン岩見沢支所米穀課木村課長より「うるち米をめぐる情勢」についての説明と村井営農コンサルタントより「復元田における稲づくり」等について紹介が行われ、有意義な講習会になりました。



講習会に聞き入る生産者

ながめま麦・大豆生産流通協議会 定期総会開催

27区・10区、大豆部門で31区・7区・1区が第1位に輝きました。地区別の製品反収ポイント・過去6カ年からの安定ポイント・過去3カ年からの増収ポイントを基に審査し、優秀な成績を収めた地区を表彰いたしました。また、総会終了後には、ホクレン岩見沢支所佐藤考査役、ながめま農協村井営農コンサルタントを講師に迎え、麦・大豆を巡る情勢についての説明や、麦・大豆栽培講習会が開催されました。



3月23日、第22回ながめま麦・大豆生産流通協議会定期総会が、ながめま農協大会議室において開催され、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画等について審議を行い、承認されました。平成30年度より地区全体の収量底上げを目指す取組みとして、当協議会主催による「小麦・大豆共励会」を開催し、小麦部門・大豆部門で面積上位①・②・③グループに分けて、小麦部門で8区・



水田活用直接支払交付金に関する 説明会の開催

3月13日、水田活用直接支払交付金に関する農業者説明会が町民会館で開催されました。

説明事項として、①水田活用の直接支払交付金等については北海道農政事務所長より説明、②畑地化促進事業については北海道農政事務所生産経営産業生産支援課より説明、③今後の予定については長沼町地域農業再生協議会より説明しました。

今後も水田活用直接支払交付金の続報が入り次第、随時、組合員の皆様方へ周知してまいります。



営農部 栽培基準の見方・ 活用方法に関する 勉強会開催

3月8日、農協第1会議室にて栽培基準の見方・活用方法に関する勉強会を開催いたしました。

勉強会の内容は、栽培基準の見方や用語などを村井・阿部両営農コンサルタントより説明していただきました。

これからも、組合員と職員のスキルアップに向けた様々な勉強会を企画してまいります。



販売部 地熱育苗センター にてトマト鉢上げ 作業

3月17日地熱育苗センターにおいて、生産者15名の参加のもと一次苗トマトの鉢上げ作業を行いました。

滝川種苗生産センターで育苗したセル苗約3万4千本の鉢上げは根気のある作業ですが、順調に進んだ結果、半日で作業を終えることができました。

今後、地熱育苗センターにて育苗を行い、4月下旬に配布を予定しています。



女性部部会活動報告

◆ライラック部会 風呂敷でエコバック

2月17日、部員12名が家庭にある風呂敷、スカーフ、バンダナなどを利用してエコバックを作成しました。エコクラフトの材料とカナピラを使い持ち手を自分で編み、風呂敷に取り付けました。
風呂敷は取り外しできるので洗うことも可能になり、自分だけの取っ手付きエコバックができたと言っていました。



◆なないろ部会

Aコープ店長に習う 「魚のさばき方講習会」

2月14日、部員13名でAコープの佐々木店長を講師に迎え「生魚のさばき方と刺身の切り方、盛り付け方」などを教わりました。三枚おろしでは中骨にそって入れる包丁の角度、刺身では包丁の刃を全部使って切り角を付けると鮮度が保たれて美しく仕上がるコツなどを教えていただきました。他にも魚の特徴や扱い方についても詳しく説明をいただきました。部員は「他の魚や貝のさばき方も習いたい」と積極的に質問していました。



◆令和5年度女性部役員・理事研修会

女性部では、3月8日理事会終了後に本部役員と理事で3年振りに研修会を開催いたしました。研修内容は「ホクレンくるるの杜でいちごの収穫と、イチゴ大福を作る」体験を行いました。



くるるの杜ではスタッフによる「施設内の農場作業についてやイチゴやお米など使用する材料に関するクイズ」などを交えての体験になりました。また、スタッフからは「いつもは札幌近郊の家族などが体験に来られることが多いので、今日のように日頃から農業を営



まれている皆さんが来られると緊張しますし、私たちも逆に勉強になります」とおっしゃられました。
女性部部长佐々木洋子さんは「まだまだ油断できない状況ですが、開催して理事と役員の親睦も深められました。また、くるるの杜のスタッフの皆さんが丹精込めて育てたイチゴを使ったの貴重な体験ができてとても良い研修になりました。」と述べられました。

ながめま農協年金友の会 温泉湯治 登別万世閣

3月7日～9日の2泊3日の日程でながめま農協年金友の会温泉湯治旅行を登別万世閣で行いました。
参加者14名で日頃の疲れを癒やしていただきました。



販売部・営農部 子実用とうもろこしの 取扱いについて

昨年より地区懇談会等でご意見がございました。今後、自給飼料増産の観点から拡大が見込まれるため、生産から流通まで担う体制をJA、ホクレンを含めた系統として整備し、受入対応を行うてまいりたいと考えております。
受入方法・手数料等の詳細につきましては現在検討中でございます。出荷については麦バラ・大豆施設及びホクレン指定の搬入先への直接搬入を予定しております。詳細については米穀畜産課まで、また、栽培・収穫・乾燥作業等、作付けを検討されている方は営農企画課までお問い合わせください。



お問い合わせ

販売部 米穀畜産課 TEL 88-22227
営農部 営農企画課 TEL 88-22226

グリーン パートナー 会員募集

JAながめまグリーンパートナー実行委員会では、パートナー探しのかきかけを作る企画として、交流会の開催や婚活に関する情報提供を行っています。まだ会員登録されていない方は、当実行委員会へ会員登録し出合いの場へ参加してはいかがでしょうか。きっと素敵な出合いがあるはずですよ。
農業者・農業後継者の女性会員も募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

グリーンパートナー実行委員会
事務局 経営相談課

担当 高瀬・安藤
TEL 88-22229

4~5月上旬の

秋小麦栽培

ポイント



1. 排水改善

今年の融雪期は平年早いですが、ほ場乾燥が遅れたり、停滞水があると湿害により生育障害がでます。額縁明渠や心土破碎を実施しましょう。

2. 起生期茎数に応じた追肥窒素施用量 (kg/10a)

品 種	起生期茎数 (本/㎡)	追 肥 時 期				合 計
		起生期 4月上旬	幼形期 5月上旬	止葉期 5月下旬	出穂期～ 6月上旬	
きたほなみ	1400 以上	0	2~4	4	(2)	6~8 (8~10)
	1000 以上	0	6	4	(2)	10 (12)
	800~1000	2	4	4	(2)	10 (12)
	800 以下	6	4	4	(2)	14 (16)
ゆめちから	1300 以上	4月中旬 6	3~6 (※)	4~6	(2)	6~8 (8~10)
	1300 未満	4月上旬 9		6	(2)	6~8 (8~10)

※「きたほなみ」は起生期2週間～幼形期にかけて葉色が急激に低下が見られる時は、その時点で追肥する。「ゆめちから」の幼穂形成期追肥は植物調節剤の処理を前提とする。

平年の生育期節

起生期 4/2 幼形期 5/1 止葉期 5/24

㎡当り茎数算出方法

条播(ドリル) 50cmの茎数×2倍×100cm÷条間(cm) 例 50本×2×100÷15=667
散播(ばらまき) 33cm×30.3cm四角内の茎数×10倍 例 70本×10=700

3. 雑草対策

●イネ科雑草(スズメノカタビラ等)に対する除草剤

トレファノサイド乳剤(200~300ml/10a) 4月上旬(処理は早いほど効果高い)

●広葉雑草に対する除草剤

◎低温時(5℃以下は避ける)

※ エコパートフロアブルとハーモニー75DF水和剤の使い分け

○ギシギシが無い → エコパートフロアブル(50~75ml/10a)

○ギシギシ、ミチヤナギが有る → ハーモニー75DF水和剤(7.5~10g/10a)

※ エコパート及びハーモニーは、越冬した大型広葉雑草には効果が劣る。

◎20℃以上の好天日を見計らって処理する

※ MCPソーダ塩(300g/10a 収穫45日前)

幼穂形成期(5月上旬)以降に使用、雑草が大きくならないうちに散布する。

※ バサグラン液剤(100~150ml/10a 雑草の3~6葉期 収穫45日前)

※ 除草剤使用後のタンク等は洗浄処理する。

4. 倒伏防止(主な植物成長調整剤)

サイコセルPRO { 幼穂形成期 150~200ml/10a (1回)
出穂前10日~20日 200~300ml/10a (1回)
(止葉期頃)

※ サイコセルPRO2回処理の例 幼穂形成期(150ml/10a)+止葉期頃(200ml/10a)

4~5月上旬の

水稲栽培

ポイント



育苗

1. 床土の準備

適正pH 4.5~5.0

成苗ポット置床施肥は、土壌診断でリン酸・加里が高い場合、硫酸(400g/坪)を施用

2. 種子消毒と種子浸種

未消毒種子粉は、テクリードCフロアブル(200倍液 24時間浸漬)

種子浸種温度は、11~12℃ 浸種日数は、5~6日 水交換は、2~3日1回

循環式催芽機 : 褐条病予防は、食酢(穀物酢 酸度4.2%)50倍液で催芽時処理

3. 出芽障害や出芽後生育不良の対策

は種後天候が悪く出芽障害や生育不良の時は、育苗液肥をかん注しても、根の発育が悪いことが多く効果が低いので、タチガレエースM液剤またはタチガレン液剤1000倍液(500~1000ml/箱(枠))かん注し発根促進を図る。

生育状況によりヨーヒK22の500倍液にヨーヒP12の500倍液を混用して、2日間隔で2回葉面散布する。

(薬害防止のため)①午後3時以降に処理 ②二度掛けは厳禁

《晴天時はヤケに要注意》

日中の高温時(11~14時頃)に土が乾燥し、地温が上昇してきたら、シルバーポリを一旦はがして散水し地温を下げましょう。

※ 置き床地温が35℃以上になったら危険信号!

晴れた日は地温の上昇程度をこまめに確認しましょう。

- 「芽」の致死温度 : 42~44℃以上
- 「根」の致死温度と時間 : 43℃(20~30分)
: 49℃(1分)

4. 早期異常出穂(不時出穂)の防止

2.5葉期以降は、25℃以上に遭わせない

「ななつぼし」「ゆめびりか」等の育苗期間は30~35日

移植日から計算して、は種日を決定しましょう。

例) 移植日5/20(予定)場合 → は種日4/15~20

5. 育苗追肥の目安

型式	時期	1~1.5葉期	2~2.5葉期	移植3~5日前	3~3.5葉期
中苗(箱マット)		N-1.0g/箱	N-1.0g/箱	N-1.0g/箱	(N-1.0g/箱)
成苗(ポット)		無	無	N-0.5g/箱	(N-1.0g/箱)

※ 3葉期以降の追肥は、必要に応じて(老化苗対策)

●1箱当りN-1.0程度施用の場合

施肥例-1 NP57号(N15-P7) 6~7g/箱(枠)

施肥例-2 苗床追肥用尿素複合液肥(N18-P6) 5ml/箱(枠)(水1ℓ 200倍液)

本田の施肥

6月は低温、日照不足の傾向があり初期生育が緩慢になりやすい。

側条施肥と全層施肥の組合せがポイント

側条施肥(移植同時)の窒素量は、3~4kg/10a程度とする

疎植栽培は、側条施肥(4kg/10a以上)が必須です。

全層の窒素量は、土壌および地力窒素(培養窒素)に応じた窒素量を!

※ 詳細は、令和5年度栽培基準11ページを参照

営農にスマホを活用しよう！

デイワーク ～ 農作業人材不足対策

1. 「デイワーク」とは？

アルバイトを雇いたい農業者と、農業アルバイトをしたい人をスマートフォンのアプリ上で結び付けるシステム。デイワークは1日単位での求人ができることが特徴であり、これまで農業と縁のなかった人たちを農繁期に労働力として呼び込むことに期待が持てます。

令和4年は40件の組合員が利用し、のべ約2200人のアルバイトが成立しました。アプリの利用は無料。(別途、ダウンロードや利用時に通信料が発生します。)

2. 利用申込の方法

営農企画課にて利用申込を随時受付しています。

JAながめまでは、デイワークの利用にあたり労災保険への加入を必須要件にしていますので、労災保険に未加入の方は加入手続きを同時に進めさせていただきます。

労災保険の加入にはお時間(2～3週間程度)がかかる場合がありますので、日程に余裕をもったの申込をお願いいたします。

JAコネクト ～ 農協と組合員の新しい連絡手段

1. 「JAコネクト」とは？

これまでの郵送・メール・FAXに代わり、組合員への連絡手段となるスマートフォンアプリ。

営農情報などがタイムリーにスマートフォンに届くことによる組合員の利便性向上と、JA内の各部署における郵送経費や事務作業の負担軽減を図ることを目的に、導入を推進しています。

アプリの利用は無料。(別途、ダウンロードや利用時に通信料が発生します。)

2. 利用申込の方法

営農企画課にて利用申込を随時受付しています。

ホクレンRTKシステム ～ GPSと連携した精密作業

1. 「ホクレンRTKシステム」とは？

GPSによる位置情報の精度をさらに向上させる仕組みが「RTKシステム」です。

ホクレンRTKシステムは、ホクレンが主体となり管理・運用しており、安価な利用料を実現しています。組合員の利用料は、年間で5500円(税込)です。(別途、ダウンロードや利用時に通信料が発生します。)

2. 利用申込の方法

営農企画課にて利用申込を随時受付しています。

デイワーク・JAコネクト・ホクレンRTKシステム

【利用申込・問い合わせ先】 営農企画課 (担当：山口) 0123-88-2226

4～5月の

大豆栽培

ポイント



1. 排水対策と土壌改良

(1) ほ場の排水改善

ほ場の透排水性の良否が大豆生育の良否に大きく影響しています。

排水路の清掃(排水路の滞水回避)、心土破碎、額縁明渠の施工等ほ場排水性改善が必須です。ほ場条件によっては、暗渠排水の再整備、カットドレン等による補助暗渠の施工をしましょう。

(2) 土壌pHを確認し、pH6を目標に

令和4年畑土壌の土壌診断結果では、基準(pH5.5～6.5)以下が3割程度あり、pH5以下も1割程度あります。炭カルなどでpH改善しましょう。

※ pH6矯正への炭カル施用量(kg/10a 改良深10cm)

測定値(pH)	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8
砂壤土	169	135	102	68	34
壤土	251	202	150	101	48
埴壤土	337	270	202	135	67
埴土	424	338	255	169	83

※アレニウス氏表による酸性矯正用より(腐植程度:含むの場合)

2. 雑草対策

前年雑草多発ほ場(雑草発生の場合)は、耕起前に「ラウンドアップマックスロード」等処理により雑草処理対策をしてください。

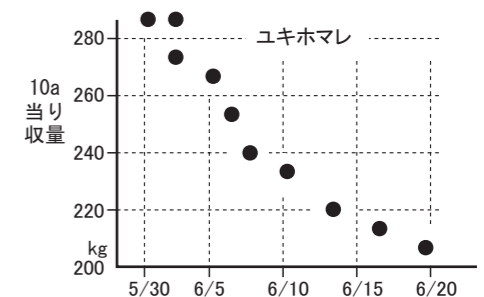
3. 適期は種

は種時期が遅くなると、着莢数の減少、豆の小粒化となり品質・収量が落ちます(右図)。可能な限り、水稻移植より大豆は種を優先しましょう。

また、発芽揃い及び土壌処理剤効果向上へ、土壌土塊は2cm以下の砕土を目指しましょう。

※は種作業時期の目安 地温 10℃以上
ユキホマレ・トヨムスメ・ユキシズカ 等
5/15～5/25

※平均気温が10℃以上となる時期(平年は5月10日頃)



4. 病害虫防除とは種後の低温時の出芽向上対策

は種後低温が続いた場合は、土壌中のピシウム菌により出芽障害を起こした事例が長沼町で過去に何度か見られている、必ずは種前に種子粉衣してください。(は種前日か当日)

●クルーザーMAXX使用の場合(アブラムシ、タネバエ、他病気に効果)

- ① クルーザーMAXXを塗布(種子1kgに8ml)
- ② 種子乾燥後根粒菌を接種(ノーキュライド種子は不要)

5. 基肥窒素の留意点

- ① 基肥チッソ量は、10a当り1.5～2.0kgを目処とする。
- ② 前作が野菜(タマネギ・長ネギ・はくさい・ブロッコリー、スイートコーン)及び甜菜の場合は、基肥は無肥料とする。一倒伏防止

6. 適正な種量(10a当り)

トヨムスメ 8～8.5kg ユキホマレ 7～7.5kg ユキシズカ 3kg を目処にする。

担い手育成緊急特別研修事業 参加者募集

～農業研修費用の助成をします～

目的	新たな農政改革や諸外国との交渉などで農業の国際化が一層進展する中、国内農業は農業者の高齢化や地域農業の担い手づくりが課題となっています。このことから、農業者自らの課題や今後の農業の将来像を描くために、国内や海外の先進地の視察研修や、後継者が農業知識・技術取得を目的とした研修参加に対する助成事業を実施します。
主催	ながめま農業協同組合
実施期間	令和4年度～6年度までの3カ年間
事業内容	<p>《視察研修事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内研修は、研修に要する経費の2/3以内（一人当たり5万円を上限）（3人以上はグループとして、1グループ15万円を上限） 海外研修は、研修に要する経費の2/3以内（一人当たり15万円を上限）（3人以上はグループとして、1グループ45万円を上限） <p>※視察研修事業への参加助成は、実施期間内1回までとする ※グループ参加は、6割以上が新たな参加者であること ※生産組織など農協組合員組織主催の視察研修は助成対象から除きます</p> <p>《農業技術習得事業》 下記の研修先での受講に要する経費 (1)北海道立農業大学校 (2)北海道花き・野菜技術研修 (3)北海道農業協同組合学校など</p>
申込先	農協本所 営農企画課 電話 88-2226
その他	<ul style="list-style-type: none"> 参加報告書の提出を必須要件とし、その内容をJAだよりに掲載いたします。 長沼町においても、研修助成事業がございますので、詳しくは、長沼町産業振興課にお問い合わせください。

農業後継者進学資金助成制度

農業後継予定者の進学資金の利息負担を助成いたします

ながめま農協独自の農業後継者確保対策として、**就農見込みのある農家子弟の進学**に必要な資金の借入に対する利子助成対策を講じ、後継者の確保と経営負担の軽減を図ることを目的として行っております。

農協で手続きされた国の教育ローン及び農協教育ローンの借入を行った組合員及びその家族が助成対象者です。

	国の教育ローン	農協の教育ローン
利子助成対象	就農予定の農家子弟に対する借入金	
助成対象資金融資限度額	200万円以内	
助成利率	設定金利相当（無利息）	
助成期間	5年間（60ヶ月）限度	

お問い合わせは、営農部 営農企画課へ TEL 88-2226（直通）

JAながめま担い手支援事業のご案内

JAながめま 担い手支援事業 ・ 長沼町 がんばる農家支援事業

意欲ある担い手（正組合員農家）が、効率的かつ安定的な経営を行うため、JAながめま担い手支援事業と、長沼町がんばる農家支援事業とが一体となり支援を行います。

- <対象者> **ながめま農協正組合員**
- <実施期間> **令和5年～7年度 3カ年**
- <受付期間> **令和5年4月1日～令和5年8月31日（10月末日までに納品完了）**
- <助成日> **年1回12月下旬支払い**
- <助成要件> **※面積要件については営農計画書等にて確認いたします。**

園芸用ハウス導入助成事業	・園芸作物の新規作付または作付拡大（10%以上）
園芸作物ブランド化支援事業	・土壌診断の実施
施設園芸作物省力化支援事業	・園芸作物の作付維持以上または新規作付 ・土壌診断の実施
スマート農業支援事業	・アシストスーツ、ドローン免許等の新規取得

<主な内容>

【園芸用ハウス導入助成事業】

園芸用パイプハウスと一体的に使用する備品・資材。
 (パイプハウス、遮光ネット、換気扇、ボイラー、灌水設備 等)
 ※ 導入する園芸用パイプハウス（新品）は1棟単位で設置すること。
 ※ ハウスの単純更新、格納庫等に使用するハウスは対象外とする。



【園芸作物ブランド化支援事業】

野菜移植機・野菜播種機（セルトレー）・散水機（園芸用ハウスの灌水設備は対象外）
 発芽器・ハウス防除機・貯水タンク（施設園芸用のみ）

【施設園芸作物省力化支援事業】

園芸用ハウス自動灌水装置・ハウス自動巻上げ機



【スマート農業支援事業】

アシストスーツ・ドローン免許等

<助成率、回数>

事業名	JA (上限)	長沼町 (参考)	合計 (上限)	助成回数 (R5～R7)
園芸用ハウス導入助成事業 園芸作物ブランド化支援事業				
新規（事業費の20%）	40万円	40万円	80万円	いずれか1回
拡大（事業費の15%）	30万円	30万円	60万円	
施設園芸作物省力化支援事業				
新規・維持以上（事業費の15%）	10万円	10万円	20万円	1回
スマート農業支援事業				
新規取得（事業費の20%）	5万円	5万円	10万円	1回

※千円未満は切り捨て、消費税は対象外

事業参加希望者は、資材センターで見積書の受付をしておりますので、参加申込書に必要な事項を記入の上、営農企画課まで併せて提出をお願いします。

※様式等につきましては、別途ご案内しております。

お問い合わせ 営農部 営農企画課 TEL 88-2226
 資材センター TEL 88-2407



デザイン/令和4年農作業安全ポスターデザインコンテスト 農林水産省農産局長賞 Akk

アグリアクション北海道の実践に向けて

アグリアクション北海道とは…

アグリアクションは、消費者に対して農業（アグリ）から行動を起こすことで、農業や食に対する理解を求め、消費者は、消費することや情報発信などを通じて北海道農業、食を応援する（リアクション）ことを目指すものであり、農業と消費者がお互いにコミュニケーションを取ることを目指して名付けられたものである。

コロナ禍や国際紛争の影響で、私たちの生活は大きな影響を受けています。組合員・JA・連合会が消費者に対して行う食料安全保障の必要性の訴求、北海道産農畜産物の消費拡大を目指した情報発信を総称して「アグリアクション北海道」といいます。

「アグリアクション北海道」は誰にでも実践することができます。

組合員としてできること…

アグリアクション北海道の着実な実践には、組合員1人ひとりの行動が大切です。

身近にできるアグリアクションとしては、しっかりと生産者の思いを伝えることが求められます。消費者に対して、アクションを起こすことこそがアグリアクションの第一歩になります。まずは、地域の消費者に対してメッセージを発信していきましょう。

また、SNS等を活用した情報発信もアグリアクション北海道の実践において重要です。農業や食に関する投稿には「#アグリアクション北海道」をつけて実践を多くの人に拡散していきましょう

1人ひとりの小さなアクションが大きな力となって、消費者の理解醸成につながります。

令和5年 春の農作業安全運動 展開中！

運動期間 令和5年4月～6月

北海道・北海道農作業安全運動推進本部

JA北海道中央会	JA北海道信連	ホクレン	JA共済連北海道
JA北海道厚生連	北海道農業共済組合	(公財)北海道農業公社	(一社)北海道農業機械工業会
(株)北海道クボタ	(株)中セキ北海道	ヤンマーアグリジャパン(株)	三菱農機販売(株)
日本ニューホランド(株)	エム・エス・ケー農業機械(株)	北海道農機商業協同組合	

企画・編集・制作：(一社)日本農業機械化協会 転載・複製・転用を禁ず

AGRIACTION!

HOKKAIDO

人事異動

- (令和5年4月1日付)
- 高嶋 良幸 販売部長 (資材部長)
 - 富澤 和幸 資材部長 (販売部長)
 - 氏家 真吾 経営相談部長 (販売部次長・米穀畜産担当)
 - 今村 大樹 営農部次長 (経営相談部次長)
 - 山本 大介 販売部次長 (園芸蔬菜担当)
 - 清水 大地 販売部 園芸蔬菜課長 (営農部 営農企画課長)
 - 森本 富一 管理部 管理課長 (管理部 管理課 総務係長)
 - 細川 悦朗 金融部 共済課 共済係長 兼 渉外課 渉外係 (販売部 園芸蔬菜課 蔬菜第二係長)
 - 松本 亮介 販売部 園芸蔬菜課 蔬菜第二係長 (金融部 共済課 共済係長 兼 渉外課 渉外係)
 - 高橋 雄也 販売部 米穀畜産課 米穀畜産係 (販売部 園芸蔬菜課 蔬菜係)

- ## 退職職員
- (令和5年3月31日付)
- 佐藤 勇太 営農部 営農企画課 企画振興係 (資材部 営農資材課 営農資材係)
 - 道順 文哉 管理部 管理課 総務係 (営農部 営農企画課 企画振興係)
 - 保科 舞 金融部 融資課 融資係 (管理部 管理課 総務係)

定年退職者に係る再雇用職員

永年のご勤続ありがとうございました
(令和5年3月31日付)

- 北長沼支所 営農経済係 調査役 根井 勝美
- 資材部 営農資材課 営農資材係 北川 由唯 (旧姓 石川)
- 営農部 審査役 森 正敏



新規採用職員

- (令和5年4月1日付)
- 資材部 営農資材課 営農資材係 蕪木 ほのか 長沼町出身 20歳 趣味 プロ野球観戦
 - 営農部 営農企画課 企画振興係 青山 大希 小平町出身 19歳 趣味 読書
 - 資材部 営農資材課 営農資材係 亀谷 理瑚 中標津町出身 19歳 趣味 テニス
 - 金融部 貯金課 貯金係 室谷 奈海 長沼町出身 18歳 趣味 料理
 - 管理部 管理課 総務係 1日でも早く仕事を覚えられよう頑張ります。よろしくお祈いします。



園芸蔬菜課事務所の移転について

園芸蔬菜課職員の事務所を本所事務所から野菜集荷場に移転いたします。

移転時期は4月11日(火)より

お問い合わせ 野菜集荷場 Tel.88-0721
または各担当の携帯電話へ

家活暮らしを家光グレードアップ

毎月の本誌と年6回の別冊付録で
お申し込みはお近くのJAへ 読者の思いに寄り添い、よりよい暮らしの実現に向けた記事作りをしています

2023 ひと目でわかる 家庭菜園 カレンダー

あなたのお悩み スッキリ解決!

種播きへ 準備万端 収穫の事だけ 考えていきましょう さあ、行こう!!

雪解け 早かったから

いきなり 納屋か 圃場へ

1月です

3月は

北長沼支所 営農経済係 調査役 根井 勝美

営農部 審査役 森 正敏

資材部 営農資材課 営農資材係 北川 由唯 (旧姓 石川)

営農部 営農企画課 企画振興係 青山 大希 小平町出身 19歳 趣味 読書

資材部 営農資材課 営農資材係 蕪木 ほのか 長沼町出身 20歳 趣味 プロ野球観戦

金融部 貯金課 貯金係 室谷 奈海 長沼町出身 18歳 趣味 料理

1日でも早く仕事を覚えられよう頑張ります。よろしくお祈いします。

価格(税込) ●普通月号 629円 ●付録月号(1・4・5・7・9月号)922円 ●家計簿付き12月号 1,027円

地上

農業・地域・JAを担う リーダーの雑誌

お問い合わせ 営農企画課 Tel.88-0722

JAグループ 家の光協会

地上

お申し込みはお近くのJAへ

営農企画課 Tel.88-0722

JAグループ 家の光協会

理事会報告 - 第2・3回 -

《令和5年3月7日開催》

[議案]

- 第1号 令和5年度(株)FAMO長沼事業計画について
- 第2号 令和5年度 事業計画について
- 第3号 総代会の開催及び提出議案について

[報告事項]

1. 行事報告事項(各委員会)について
2. 労働保険事務組合の令和4年度徴収・納付状況について
3. 資材事業予約購買の取進めについて
4. その他

《令和5年3月17日開催》

[議案]

- 第1号 決算自治監査講評について
- 第2号 令和4年度みのり監査法人に係る監査報告について
- 第3号 令和4年度決算書類の承認について
- 第4号 通常総代会の招集について
- 第5号 「余裕金運用規程」の一部変更について
- 第6号 固定資産の発注について

[報告事項]

1. 会議行事報告について
2. 組合員の加入及び脱退の状況について
3. 総体的なリスク管理について
4. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

今月の組合員数 (前月比)

組合員 1,556名(-8)
 正組合員 805名(-4)
 准組合員 751名(-4)
 正組合員戸数 627戸(±0)

農協の動き 2/23~3/17

2月

- 23日 職員採用試験(筆記・面接) 於 農 協
- 24日 みのり監査法人 経営者ディスカッション・監事コミュニケーション 於 農 協
- 27日 北海道土地連空知支部理事会・通常全体会議 於 岩見沢市
- 27~3月2日 第4四半期自治監査 於 農 協

3月

- 2日 空知管内組合長会議 於 空知農業会館
- 2日 長沼町甜菜振興協議会定期総会 於 農 協
- 3日 (公社)岩見沢地方法人会 長沼農業地区会 事業報告会 於 農 協
- 6日 営農委員会 於 農 協
- 6日 総務経済対策委員会 於 農 協
- 7日 子会社経営協議会 於 農 協
- 7日 理事会 於 農 協
- 7~9日 年金友の会道内旅行(温泉湯治) 於 登別市
- 10日 令和5年度 主食用水稲作付意向調査 於 農 協
- 13日 水田活用の直接支払交付金に関する説明会 於 長沼町民会館
- 15日 監事会 於 農 協
- 17日 中央会・厚生連臨時総会 於 札幌市
- 17日 子会社監査講評 於 農 協
- 17日 監査講評 於 農 協
- 17日 理事会 於 農 協
- 17日 グリーンパートナー実行委員会 於 農 協

食と農
 ひらく未来へ
 確かな目

食農のページがもっと楽しく
 食農教育の知識がいっばいつまっています。



購読のお申し込みはJAへ



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞